

わたしたちの税金がどのように使われたか？  
無駄な事業や問題点はなかったか？

# 令和2年度決算

# 決算審査特別委員会報告

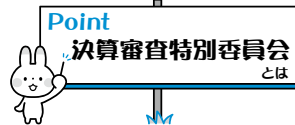
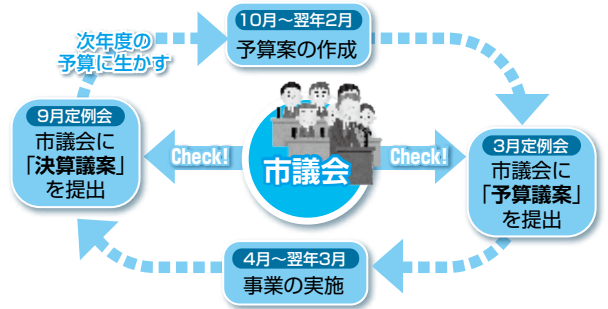
詳細に審査し

# 認定

令和2年度一般会計及び特別会計等歳入歳出の決算を認定  
歳出総額563億2,212万円を審査しました。

**決算審査特別委員会**は9月9日に設置され、委員8名の選出とともに委員長に室井伸一議員、副委員長に高畠裕議員が選出されました。9月22日から2日間、質疑188件について慎重に審査が行われ、審査の結果、全会一致で認定すべきものと決し、10月1日の本会議で報告され賛成多数で認定及び可決されました。

委員長	室井伸一
副委員長	高畠裕
委員	戸倉宏一
	柴原隆夫
	大花務
	大竹功一
	山口耕治
	須藤博之



議会の重要な権限の一つである「決算認定」を行うため、特別に設置される委員会。予算が実際にどのような使われ方をしたのか審査をして、適正かつ効果的に使われたのかを認定します。

## 委員会における個別審査、総括質疑の中から一部を紹介します



### 住宅取得支援

人口減少対策へ

県外や市外から白河市への移住促進を図り、人口減少対策の実現に寄与するために実施した結果、白河31件、大信2件、表郷5件、東1件の移住があり、一定の効果があった。

高畠副委員長

### 委員長の視点

#### 決算審査特別委員会総括

今年度の決算審査特別委員会は、昨年同様に各委員から事前に質疑事項や資料請求を行い、効率的な審査ができるよう配慮して実施しました。

二日間にわたって行われた個別審査では、令和2年度予算編成の着眼点である「魅力ある雇用づくり」「若い世代の活躍支援」「人と地域のつながりの創出」、さらには、喫緊の課題である「コロナ対策などについて、市民の皆様から預かった税金が各種事業に効果的・効率的に使われているか、各委員は詳細にわたり調査を行いました。

審査の結果、概ね適切に事業展開されたものと決算は認定及び可決することとしました。

決算審査特別委員長 室井伸一

